

2015年度現代中国地域研究プログラム国際シンポジウム

2016年2月20日(土)21日(日)
場所:愛知大学名古屋キャンパス 講義棟8階 L806教室

20日(土)

12:30~13:00

開 場

13:00~13:10

<開催挨拶> 立本成文
(人間文化研究機構長)

13:10~13:20

開催趣旨:天児慧(総括代表)

セッション1 中国経済

司会: 高橋五郎(愛知大学)

13:20~17:20

13:20~14:20 東京大学拠点

第一報告 丸川知雄(東京大学)
「中国・新興国ネクサス」

第二報告 伊藤亜聖(東京大学)
「中国・新興国間貿易の深化と『一带一路』」

コメンテーター: 天児慧(早稲田大学)

14:20~14:30 休 憩

14:30~15:30 愛知大学拠点

共通テーマ: 日中経済連携の実証研究

第一報告 高橋五郎(愛知大学)
「愛大拠点とデンスーによる中国の農産物コールドチェーン構築
一産学連携からみた日中連携の成果と課題一」

第二報告 李春利(愛知大学)
「中国の第13次五カ年計画におけるエネルギー問題について」

第三報告 田中英式(愛知大学) 李博(愛知大学研究員)

	<p>コメンテーター 高橋伸夫(慶応義塾大学)</p>
12:30～13:30	<p>運営委員会開催(昼食を取りながら)</p>
	<p>セッション3 中国政治、国際関係、環境 司会: 鄭 成 (早稲田大学)</p>
13:30～17:40	<p>13:30～14:30 慶応義塾大学拠点</p> <p>第一報告 加茂具樹(慶応義塾大学) 「中国共産党の支配の「強靱性」をどうみるか」</p> <p>第二報告 江藤名保子(アジア経済研究所) 「ナショナル・アイデンティティと日中関係」</p> <p>コメンテーター 趙宏偉(法政大学)</p> <p>14:30～15:30 法政大学拠点</p> <p>共通テーマ:「新常態」下の党サバイバル戦略:「復元力」と「適応力」 司会: 菱田雅晴(法政大学)</p> <p>第一報告 諏訪一幸(静岡県立大学) 「党と人代:法律制定過程にみられる適応力」</p> <p>第二報告 中岡まり(常磐大学) 「人大選挙と代表活動に見る党の強靱性と脆弱性」</p> <p>第三報告 角崎信也(日本国際問題研究所) 「体制の安定性とローカル・ガバナンスの不安定性:「適応力」の代償」</p> <p>コメンテーター: 趙宏偉(法政大学)、鈴木隆(愛知県立大学) (各報告10分以内、コメント各5分、フロア討論15分)</p> <p>15:30～15:40 休憩</p> <p>15:40～16:40 地球研拠点</p> <p>第一報告 北川秀樹(龍谷大学) 「中国の環境法政策とガバナンス」</p> <p>第二報告 花松泰倫(九州大学) 「北東アジアにおける越境環境ガバナンスの可能性ーアムール・オホーツ</p>

	<p style="text-align: center;">ク生態系保全の事例を中心にー」</p> <p>第三報告 蔣宏偉(総合地球環境学研究所) 「中国の換金作物開発とその越境影響」</p> <p>コメンテーター 窪田順平(総合地球環境学研究所)</p> <p><u>16:40～17:40 早稲田拠点</u></p> <p>第一報告 天児慧(早稲田大学) 「現代中国の地域研究について方法論」</p> <p>第二報告 劉傑(早稲田大学) 『「中国研究」と「日本研究」の間』</p> <p>第三報告 張望(早稲田大学) 「日中関係研究の方法論:歴史学と国際関係学の融合の可能性」</p> <p>コメンテーター 菱田雅晴(法政大学)</p>
17:40～17:45	<p style="text-align: center;">閉会の挨拶</p> <p style="text-align: center;">天児慧 (総括代表)</p>